

事例から学ぶ 温室効果ガス 対応入門コース

コースID:TM79

企業のGHG対応について、 成功例・失敗例を交えて解説

エネルギー・温室効果ガス関連の制度としては、京都議定書などの国際的な制度や国内法規制、またカーボンフットプリントやカーボンオフセットなど、さまざまな制度があります。

本コースは、これら制度に対して企業としてどう対応するか、どのように活かすかにポイントを置き、成功事例、失敗事例を交えながら、本業の販売促進への活用など、わかりやすくご紹介します。また、GHGを取り巻くさまざまな動向や、省エネ技術をはじめとする情報へのアクセス方法にもふれます。

- 社会的背景から具体的な取組み、応用まで、わかりやすく解説
- 「ISO14064-1温室効果ガス排出量算定コース」(TM78)、「温室効果ガス排出量算定者／検証人(ベリファイヤー)養成5日間コース」(TM16)等の受講前の準備研修としても最適

コース対象者

- 企業の新任環境担当の方
- 企業のGHG対応の基本を知りたい方
- GHG関連動向の全体像を把握したい方
- 営業戦略を立案なさる方

日程

コースID	開催No.
TM79	No.14 2012年 1/14(土)

※2012年度以降の日程は、ホームページをご覧ください。

日数

1 日間

受講料

〈会員以外の方でもお得な割引制度があります〉
詳細はホームページをご覧ください

TM78とセットではない場合

28,000円 (税込、昼食代込)

25,200円 (テクノファ会員の方)

TM79とTM78をセットでお申込の場合は合わせて

51,000円 (税込、昼食代込)

45,900円 (テクノファ会員の方)

会場

テクノファ川崎研修センター
出張コース対応可

定員

28名

※TM78「ISO14064-1温室効果ガス排出量算定コース」のご受講前に本コースをご受講になることをお奨めします。

カリキュラム

9:30～17:00

- 【社会的背景】国内外のGHG対策 ～法規制から助成金まで～
- 【目的】 なぜ今企業にとってGHG対策が必要か
- 【事例】 GHG対策① ～グリーン電力証書～
- 【事例】 GHG対策② ～カーボン・オフセット～
- 【事例】 GHG対策③ ～海外動向～
- 【今後の課題】これからの社会で求められるGHG対応基準
～何から始めて、どこまでするのか～

※カリキュラムの一部が変更になることがあります。